



## 秋晴れの日には響いた西原小鼓笛隊の演奏

校長 手代木 英明

11月2日に西原小学校鼓笛隊は、「第42回くみんの広場 ふるさと渋谷フェスティバル2019」の開会式に参加し、商店街をパレードしました。鼓笛隊の先頭には、5年生代表が持つ「輝け！西原っ子！」の横断幕が掲げられました。これは、創立90周年記念に同窓会より寄贈していただいたものです。スクールカラーの黄緑をベースに、くっきりとした黒色の文字、金色に輝くふさが付いた上品な幕です。



八幡商店会でのパレード

演奏曲は、よろこびの歌、聖者の行進、ミッキーマウスマーチ、春の小川、校歌、ファッションモンスター、ドラムマーチです。地元の皆様や保護者の皆様の拍手と声援のお陰で、子供たちは最後まで元気いっぱいの演奏ができました。

ご声援ありがとうございました。

## 地元で社会科見学「渋谷にはすごい工場がある！」 「駅の裏側は？」

3年生は、昨年度から上原にある「レオパール」という洋服を作る会社に社会科見学に行っています。森田社長は50年前の1ドル360円時代に、単身ロンドンに渡って服飾の勉強をし、渋谷に会社を興したそうです。

子供たちは、流行の最先端のデザインを世界に発信する会社と工場が地元にあることを学びました。デザイン、裁断、縫製、ボタンや飾り付け、プレスなどの工程を間近で見学するので、安全確保のために保護者の方にも参加していただきました。子供も大人も勉強になる社会科見学でした。



裁断の説明を聞く子供たち

2年生は、初めて「代々木上原駅見学」に行きました。駅員さんの仕事を学び、非常停止ボタンを実際に押したり、落下物をマジックハンドでつかんだりする体験をしました。自動券売機の裏側やホームでの安全確認の実際を見るなど、貴重な見学ができました。

## けやきの苑で「ふれあいコンサート」1年生

11月18日に1年1組、25日に3組、26日に2組が、けやきの苑で、ふれあいコンサートをしました。子供たちのあいさつの言葉や曲の発表は、とても立派にできました。入所者の皆さんと一緒に「ずいずいずっころばし」をしたときは、涙を流して喜んでいる方もいらっしゃいました。

けやきの苑での「ふれあいコンサート」は、発表の場としてだけでなく、核家族化が進む中でのお年寄りとの交流や自分たちの活動が人のためになるという経験が重要です。西原小とけやきの苑の間には、子供が道路を歩かずに、行き来できる門があります。これからも、交流を続けていきます。



元気な歌声を届けました。

## 「渋谷タブレットの日」区内で1700人以上の参観者

11月8日は「渋谷タブレットの日」でした。西原小でも3・4時間目にタブレット活用の公開授業を行いました。一般27名、保護者140名の参観者でした。宮崎県、愛媛県や神奈川県、千葉県からのお客様もありました。



タブレットは1年生も使えます。